

一 般 質 問 通 告 書

大 台 町 議 会

令和7年第2回定例会

令和 7 年第 2 回大台町議会定例会 一般質問通告（質問事項）		
通告順	（議席番号）議員氏名	質問事項
1 番	（1）古田廣幸	①文化施設整備について
2 番	（4）元坂正人	①大杉谷地区での自然葬（樹木葬）について ②役場職員の宿直業務について ③文化施設（避難所）整備について
3 番	（2）宮田明彦	①大台町 B & G 海洋センターの今後の活用について ②旧協和中学校敷地の現在の課題への対処方法と今後のあり方について
4 番	（10）野村政美	①ふるさと納税について ②第三セクターへの支援について
5 番	（8）古家大輔	①総合計画と総合戦略について ②まちづくりの未来と空き家の利活用について
6 番	（5）岸良隆	①大台町の医療費等の状況について ②健康づくりの取組について
7 番	（7）上瀬ひろみ	①ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向けた地域づくり、ひと・企業に選ばれる町づくりについて

令和 7 年第 2 回大台町議会定例会 一般質問通告書						
通告順	1 番	議席番号	1 番	議員氏名	古田 廣幸	
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨				質問の相手
①文化施設整備について		<p>令和 6 年 3 月定例会で「文化施設整備基本構想策定業務委託」について予算が計上され、町が図書館、文化財展示施設、文化ホールを備えた文化施設を考えていることが明らかにされました。建設・設計監理等事業費が 8～10 億円で、旧大台厚生病院跡に 2,000 m²の建物を建てる計画でした。7 月には第 1 回検討委員会が開催されています。</p> <p>(1) 初めにこの構想が立ち上がったきっかけと、その後予算計上するまでの経緯を伺います。</p> <p>(2) 昨年 10 月から 11 月には町民アンケートが実施され、第 2 回検討委員会が 12 月に開催されていますが、令和 6 年 3 月定例会から現在に至るまでの取り組み状況をお聞きます。</p> <p>(3) 町民アンケート「文化施設整備検討に係るアンケート」については、町民の皆様からいろいろなご意見を頂いております。その分析結果についてはどのような見解を持っていますか。</p> <p>(4) 大台町の文化的な施策は、予算面においても、現状の施設面においても少し物足りないところがあります。経済学者の宇沢弘文氏によれば、「文化施設は社会的共通資本であって、全ての人々が豊かな経済生活を営み、優れた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置である」と指摘をしております。今回の「文化施設整備」は大台町に新しい社会的装置が設置され、地域に新たな価値がもたらされ、地域活性の基盤となる可能性もあります。今後の計画の方向性、タイムスケジュールはどのようなものなのか伺います。</p>				町長 教育長

令和 7 年第 2 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	2 番	議席番号	4 番	議員氏名	元坂 正人
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①大杉谷地区での 自然葬（樹木葬） について		<p>大杉谷地区の山林で行われている自然葬については、これまでも町の対応について質問をしてきたところですが、今回は、前回質問した令和 6 年第 2 回定例会以降の状況についてお伺いします。</p> <p>（１）現在の状況と今後の対応について</p> <p>（２）墓地等の許可権限を県へ返還することについて</p>			町長
②役場職員の宿直 業務について		<p>働き方改革や職員の労働環境の改善は、職員の負担軽減やモチベーションの向上のみではなく、業務の集中力が高まり住民サービスの向上にもつながると考えます。</p> <p>現在、宿直業務は職員が当番制で行っており、職員にとっては身体的、精神的な負担が大きく、家庭との両立が難しいという声を聞きます。</p> <p>職員のより良い労働環境の整備のために、職員による宿直業務を廃止し、委託など他の方法に変更すべきだと考えますが、町のお考えをお伺いします。</p>			町長
③文化施設（避難 所）整備について		<p>町は昨年、旧大台厚生病院跡地を候補地とする図書館・文化財展示施設・文化ホール・避難所等の機能を持つ文化施設の整備について、文化施設整備検討委員会を設置し、必要性などについて検討されました。</p> <p>町民アンケートの結果も踏まえた検討の結果は、文化ホールは新たに設置せず、グリーンプラザおおだいや健康ふれあい会館を引き続き利用するとのことでした。</p> <p>町民の文化活動の充実を図るためには、文化施設は重要であり、また、町が当初示した案のように、大規模災害発生時の避難所としても旧大台厚生病院跡地に整備することが望ましいのではないかと</p>			町長 教育長

令和7年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	2 番	議席番号	4 番	議員氏名	元坂 正人
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		<p>考えます。</p> <p>このことについて、再度検討するお考えはないのかお伺いします。</p>			

令和7年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3番	議席番号	2番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
① 大台町B＆G海洋センターの今後の活用について		<p>(1) 令和4年第3回定例会で大規模な公園の必要性を問うた際、「B＆G周辺を素晴らしい地域にしたいと考えている」と答弁された。町長は、B＆G海洋センター敷地内の活用について、今後どのようにしていきたいと考えているのか、構想があればお聞きしたい。</p> <p>(2) 昨年5月30日に開催された知事と町長の円卓会議の後半の会合にて、子育て世代の方が設置を望む場所として、雨天時や暑いときに過ごせる屋内施設があってほしいという意見があがった。現在のB＆G海洋センター体育館の活用状況については、イベントがあるとき以外は、日中ほとんど使われていない状況である。折角遊具が設置されたB＆Gを、さらに子育て世代が活用しやすい場所とするために、体育館を平日の昼間に時間を決めて開放していくことで、雨天時等に気軽に過ごせる場所になると私は考えるが、このことについて町はどう考えるか。</p> <p>(3) トレーニングルームの利用人数は徐々に増えてきているようである。定期的に集まって活動しているグループがあるとも聞く。利用人数が増えてきた分、手狭感が感じられるようになってきている。ガラスで区切られてほとんど利用されていない部屋をなくして、トレーニングルームを広げることで利用がしやすくなると考える。改善する考えはないか。</p> <p>(4) B＆G海洋センターは、地震等の大規模災害時には、三瀬谷地域で大きな役割を果たす場所と考えるが、空調設備がなく、夏や冬に災害が起こった場合、避難所として適切ではないと考える。今、災害関連死が問題になっているが、どのように対処していくのか。</p>			町長 教育長

令和 7 年第 2 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
②旧協和中学校敷地の現在の課題への対処方法と今後のあり方について		<p>(1) 大台町町民体育館前の空き地は、現在、救急搬送のヘリポートやグリーンプラザのイベント時の臨時駐車場に使われている。</p> <p>また、旧協和中学校運動場とテニスコートなどがあった場所は、現在荒れ地となっており、昨年の大雨の際、横の排水路から水があふれ、隣の茶畑や近隣の住宅まで水がきたとのことだった。現地を見に行くと、町有地からはみ出した木々に覆われていて、排水路が確認できない状況であった。</p> <p>この土地は、当初日進小学校の移転地とも言われていたが、あり方委員会で方向性が決まるまでは移転計画の進展はないと思われる。大規模災害発生時のグリーンプラザや町民体育館への避難者の駐車場や仮設住宅の建設場所として適切な場所と考えるが、そのためには整地する必要がある、今の状態では利用することはできない。そこで、伺う。</p> <p>旧協和中学校運動場やテニスコートがあった場所をいつでも利用可能な状態に整地し、整地した一面にヘリポートを移設することで、体育館前の空き地は、常時保育園職員の駐車場や臨時の駐車場としての利用が可能となり利便性が向上すると考えるが、町の考えはどうか。</p> <p>(2) 大台町町民体育館は、現在川添地区や日進地区に住む児童の学童保育として活用されているが、鳩が破損部分から侵入して、そのフン害で困っている。過去に修理されたこともあるが、同じことが数年も経たないうちに起きている。</p> <p>さらに、玄関の蛍光灯が切れたり、便器が故障したりしていることの連絡をしたり、鳩のフンを取り除いたり、トイレ掃除をしているのは、現在は学童保育職員や保護者であり、職員はこうした本来の業務内容以外のことも行わなくてはならなくなっている。常駐者のいない施設の管理に関して、何らかの仕組作りが必要なのではないか。</p>			町長 教育長

令和7年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書						
通告順	3番	議席番号	2番	議員氏名	宮田 明彦	
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨				質問の相手
		<p>この施設は、あり方検討委員会の結果によっては、この先小学校の体育館となることもあり得る。</p> <p>今から実際に町が管理方法を考えて、維持管理をしていくことが大事だと考えるが、町の見解を伺う。</p>				

令和 7 年第 2 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	4 番	議席番号	1 0 番	議員氏名	野村 政美
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①ふるさと納税について		令和 6 年度におけるふるさと納税を増やすための取組内容とその成果はどうか。 また、今年度に取り組むことは何か。			町長
②第三セクターへの支援について		<p>(1) 第三セクター（榑宮川物産、道の駅奥伊勢おおだい㈱、榑宮川観光振興公社）の経営の安定を図るために、令和 6 年度に町として支援した取組内容とその効果はどうか。</p> <p>(2) 榑宮川物産への支援として、地域おこし協力隊員を活用した人材確保を行えばどうか。</p> <p>(3) 道の駅奥伊勢おおだい㈱の集客力向上のための取組（集客イベントの開催や施設の改修、農園の拡充整備など）に積極的に取り組めるように支援すればどうか。</p> <p>(4) 榑宮川物産と道の駅奥伊勢おおだい㈱の経営を強化するために、両社が経営統合することについてどう考えるか。また、経営統合を進めるために町として出来ることはないか。</p> <p>(5) 森林環境譲与税を活用した事業においては、水源かん養機能等の公益的機能の維持増進を図るという直接的な目的の取組のほか、国民に森林の良さの理解をしてもらうというような取組も求められている。</p> <p>森林環境譲与税で奥伊勢フォレストピア周辺の森林を、散策（森林浴）できるような森林に整備すれば、これらの目的等に加え、奥伊勢フォレストピアの利用者の増大やその満足度の向上などの側面的な支援に繋がるのではないか。</p>			町長

令和7年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	5 番	議席番号	8 番	議員氏名	古家 大輔
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①総合計画と総合戦略について		<p>令和8年度からの新しい10年に向け、町の最上位計画である第3次大台町総合計画の作成が始まりました。本計画の策定においては、これまで単独で策定されてきた「第2期大台町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画年度を1年間延長することで、総合計画と総合戦略を同時期に策定させる新しい取組も計画されています。</p> <p>(1) 総合計画の策定に向け、現在の進捗状況と町民が計画策定に向けどのように参加することを計画されているか伺います。</p> <p>(2) 総合計画と総合戦略を同時期に策定することで、もたらされるメリットとデメリットについて伺います。</p> <p>(3) 現在の総合戦略「第2期大台町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、4つの基本目標に加え、それぞれに数値目標が設定されています。それぞれの達成状況に加えて今後の課題や対応策について伺います。</p> <p>(4) 今年度「大台町立小学校のあり方検討委員会」が発足され、適正規模や適正配置を考えた今後の学校のあり方に関する基本方針の策定について、年度末を目処に委員会からの答申書の提出が計画されているところです。計画策定後に決定する学校統廃合について、どのような位置付けを図っていく方針なのか伺います。</p>			町長 教育長
②まちづくりの未来と空き家の活用について		<p>令和5年12月より「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」が施行され、「管理不全空家等」制度の創設により空き家の管理責任が厳格化されました。また新たに「空家等管理活用支援法人」制度が創設され、町の指定により民間団体であっても公的な立場として、行政と情報連携を図りながら、より踏み込んだ空き家課題解決に取り組むことが可能となりました。</p>			町長

令和 7 年第 2 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	5 番	議席番号	8 番	議員氏名	古家 大輔
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		<p>他方、令和 6 年 11 月より「広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。本改正により同様の仕組みで「二地域居住等支援法人（特定居住支援法人）制度」が創設され、町の指定により、民間団体が二地域居住というフィールドにおいて活躍することができる基盤法が整いました。そこで大台町のまちづくりの未来を左右する空き家対策における本町の見解を伺います。</p> <p>（１）令和 7 年度大台町が取り組んでいる空き家対策における重点事業について進捗状況を伺います。</p> <p>（２）本年 2 月に町が策定した「第 2 期大台町空家等対策計画」では、空家等管理活用支援法人について、各取組の状況を踏まえ、指定の方針を検討するとしています。現在の検討状況について伺います。</p> <p>（３）大台町が空き家の利活用を強化する上で、二地域居住の推進は関係人口を増やすために大変重要なテーマであると考えます。第 3 次大台町総合計画に向けた町民アンケート調査の「町長だったら力を入れたい取組」で優先課題の一つとして働く場の創出が挙げられる一方で、産業用適地が見出せない現状があるなか、小規模分散型の産業振興の場としても空き家の有効活用を推進すべきではないかと考えますが、町の見解を伺います。</p>			

令和 7 年第 2 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	6 番	議席番号	5 番	議員氏名	岸 良隆
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①大台町の医療費等の状況について		<p>厚生労働省が令和 6 年 10 月に公表している「令和 4 年度 国民医療費の概況」によると、令和 4 年度の国民医療費は 46 兆 6,967 億円、人口一人当たりの国民医療費は 37 万 3,700 円で日本の医療費は、年々右肩上がりに増え続けている。また、「2025 年問題」もある。</p> <p>三重県においては、令和 6 年度を計画の開始年度とする「第四期三重県医療費適正化計画」が策定されている。</p> <p>後期高齢者医療保険については、県単位の広域連合で運営されている。また、国民健康保険については、全国において令和 15 年度までに、標準保険料率の統一を図ることとされている。</p> <p>医療費や介護保険事業費を減少させていく取組が必要である。</p> <p>このような状況を踏まえて次の点について伺う。</p> <p>(1) マイナンバーカードの健康保険証利用における問題は出ていないのか。また資格確認証の発行件数はどれほどか。</p> <p>(2) 大台町の医療費はどの程度か。また、三重県内の市町と比較してどうか。</p> <p>(3) 国民健康保険の標準保険料の統一に向けて、大台町の国民健康保険税はどうなるのか。</p> <p>(4) 大台町の国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料は三重県内の市町と比較してどうか。</p> <p>(5) 第 9 期大台町高齢者福祉計画・介護保険事業計画における介護保険料の見通しは。また、近年の新規介護認定者数の状況は。</p>			町長
②健康づくりの取組について		<p>医療費や介護保険事業費を減少させていくためには、現状を把握・分析したうえで事業を推進していく施策を打つべきである。</p> <p>次の点について伺う。</p>			町長 教育長

令和 7 年第 2 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	6 番	議席番号	5 番	議員氏名	岸 良隆
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		<p>(1) 第三次大台町健康増進計画の基本目標 1 に「運動の推進」が掲げられている。体を動かし、人との交流を図るなどが大事と思うが事業の取組状況は。</p> <p>(2) B&G 海洋センターにトレーニング器具が設置されている。利用状況は。 また、正しく利用し、無理なく継続して利用してもらうためには指導者（トレーナー）を配置すべきではないか。</p> <p>(3) 第三次大台町健康増進計画の基本目標 6 の特定健診受診率や特定保健指導率の令和 6 年度末の状況はどうか。</p> <p>(4) 町民の健康づくり意識を高めるための条例を制定することを提案する。</p>			

令和7年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	7 番	議席番号	7 番	議員氏名	上瀬 ひろみ
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向けた地域づくり、ひと・企業に選ばれる町づくりについて		<p>地域の自然の豊かさを大切にした地域づくりを実践して、大台町を世界に発信することができれば、関係交流人口の増加につながります。地域の自然資源を大切にして価値を高めることができれば、企業の事業地や資源調達先として大台町が選ばれる可能性が高まります。</p> <p>（１）町は、地域の生物多様性の現状を見つめ、ネイチャーポジティブに向けた施策や取組みを実行していかなくてはなりません。</p> <p>町の自然について重要な地域を把握し、その質を高める活動について実績がある大杉谷自然学校と施策を共有して生物多様性の保全を推進していくべきだと考えますが、見解を伺います。</p> <p>（２）町の自然環境や町が行う自然保護活動を案内、解説するために、大杉谷登山歩道の維持管理、自然保護などの機能を担っている大杉谷登山センターを三重県と協働でビジターセンターのような機能を備え活性化していくべきだと考えますが、見解を伺います。</p> <p>（３）地域の自然の豊かさを大切にした町づくりを実践し、世界にわかりやすく発信していくために2030 生物多様性枠組実現日本会議が呼びかけをおこなっている「ネイチャーポジティブ宣言」に参加することを提案します。地域、県、国、関係支援機関などと連携し、環境保全を通じて地域振興を目指しましょう。</p>			町長